

4年生では、主に、総合的な学習の時間「ビオトープを観察しよう」と、理科「季節と生き物」を関連付けて、1年を通して水辺の生き物や植物の変化の様子を観察することができました。



<思ったこと>

秋がもっと深まるともっと真っ赤になり、鮮やかになるのかな？と思った。黄色いのもみじもあるのかな？と思いました。

観察したもの

もみじ

調べた日 11月22日 水

天気 晴れ 気温 ( )℃

<気づいたこと>

夏は、緑色だったが、真っ赤になり、紅葉シーズンにすっかりなっていた。



<思ったこと>

植物が秋より枯れ、木に芽ができていた。

観察したもの

冬らしいもの※

調べた日 1月12日 金

天気 晴れ 気温 ( 10 )℃

<気づいたこと>

生き物が葉の裏に隠れて身を隠していた。

一人一台端末を生かして観察記録をしました。観察記録を保存しておくことで、前に観察したものとの比較することができ、よりよい活動となりました。

ビオトープが身近にあり、継続的に植物や生き物の観察できる環境は、児童にとってとてもよい学びとなっています。

## ビオトープ活動報告

岡本西小学校 第5学年

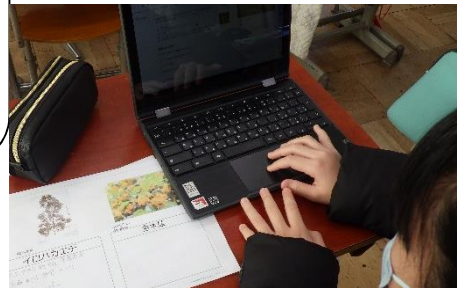
5年生では、主に、総合的な学習の時間「ビオトープを整備しよう」で、ビオトープとはどんなものかを調べた後、ビオトープの様子やそこに住む生き物を観察し、生き物や生き物が住みやすい環境をどのように維持していくかについて考えました。



石の下にも何か生き物がいるね。

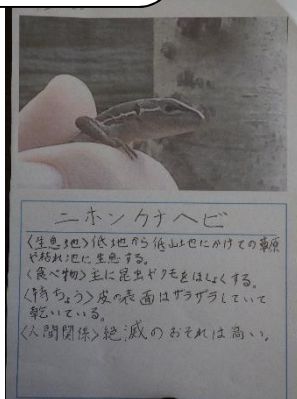


いろいろな植物も生えているね。  
見つけた生き物をパソコンで撮影して、詳しく調べてみよう。



こんなところにゴミが落ちてる。  
風に飛ばされてきたのかな？  
川に落ちて流される前に拾わないといけないね。

学校みんなに、ビオトープについてもっと興味をもって大切に思ってもらうために、生き物について調べたことをカードにかいて校内に掲示することにしました。



ビオトープのどこに何があるのかを見取り図に表してカードと一緒に掲示しました。

ビオトープには、カナヘビやカエルなどの小動物だけでなく、植物も含めた様々な生き物がいることを知り、その生物について詳しく調べることで身近な生態系に興味をもつことができ、大切にしていこうという気持ちが育ちました。また、調べたことを学校全体に知らせる活動を通して、国語の報告文の学習で学んだことをはじめ、社会の環境学習や理科の生き物の学習など、他教科での学びを生かして活動を進めることができました。

## ビオトープ活動報告

6年生は、総合的な学習の時間の「ビオトープ大作戦」では、ビオトープを通して「人と自然の共存」について学習してきました。学習を通して、岡西ビオトープは、児童や地域の方々が生き物にとってくらしやすい環境を保持しているからこそ、多くの生き物が存在することができていることに気付きました。また、「環境保全」について考える道徳の「タマゾン川」では、近年、ペットは大変なブームであり、外国からもたくさんの生物が輸入されおり、これらの外国から持ち込まれた生物が、野外に放されたり逃げ出したりすることによって、在来の自然環境や野生生物に深刻な悪影響を及ぼすケースが多く起きていることを知り、動植物を大切にしようとする思いをもつとともに、環境と共生するために人間がすべきことを考えました。児童たちにとって最も身近な環境は本校のビオトープと、そこを流れる奈坪川です。この2つを守り継いでいくことが「人と自然の共存」のために自分達にできることと考え、その大切さを訴える標語をつくることになりました。ビオトープがあることで、学習が「ただの知識の獲得」にならず、「自分事として考え行動する主体的な学び」に昇華することができました。現在は、児童一人一人がつくった標語の中から学級の代表となった作品を職員室前に掲示し、全校児童へ呼びかけをしています。

